

…主イエスのまなざしと出会う…
神さまに、隣人に、そして社会に仕える



会報

発行所:日本福音ルーテル教会女性会連盟
〒169-0072東京都新宿区大久保1-14-14
TEL/FAX:03-3207-2340
Web:https://www.jelc-w.org
E-mail:jelc-w@big.or.jp
発行人:八木 久美・編集人:廣瀬美由紀

2023.4.25
166号
25期4号

JELCW ニュースレター

Japan Evangelical Lutheran Church Women

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい ローマの信徒への手紙12章15節

巻頭言

「主イエスのまなざし」

日本福音ルーテル下関・宇部・厚狭教会 牧師 中島 共生



下関・厚狭・宇部教会に赴任してすぐの頃でした。教会報に載せる自己紹介を兼ねたインタビューで趣味を問われ、立ち止まりました。好きな食べ物を聞かれたならば、うどんやカレーと答えます。一般的に趣味と言えば登山や釣り、読書や映画鑑賞が思い浮かびますが、どれも趣味とは言えませんでした。ですから、『これからDIYを趣味にします』と答えたのです。そしてこの言葉を嘘にしないために、献花台やスロープ作りに始まり、今では外壁塗装やコンクリート打設も素人ながらこなせるようになりました。

神学生時代、宣教研修では九州の教会にお世話になりました。ある礼拝所のYさんは私の研修が始まってすぐ入院され、土曜日は礼拝を終えてからYさんのお見舞いに行くのが恒例となりました。Yさんは私にたくさんのお話を教えてくださいました。そして、いつも励ましてくださいました。4か月ほどの入院生活を終え、やっと退院できたYさんでしたが、その数日後、突然召天なされました。葬儀では泣いてばかりで一言も発することのできなかつた私は、牧師にはなれないと感じ、次の土曜日の礼拝を最後にしようと決めました。

土曜日、礼拝堂の一番前の席にYさんのお連れ合いが座っておられました。その顔を見た瞬間、Yさんがいつも『君は良い牧師になる』と励ましてくださったことを思い出しました。良い牧師の条件が何かは私には分かりませんが、本当に神さまに召されたのならば、必ずや神さまが『良い牧師』として育ててくださるのだ

と思います。そしてYさんの言葉を嘘にしないために、私は毎主日、説教壇に立ち続けています。

今期の女性会連盟総主題は“主イエスのまなざし”です。主のまなざしが私に完璧で在ることを求めるものならば、それは重荷です。私は嘘でも『自分は完璧です』とは言うことができないからです。しかし私がどう在ろうとも、私に期待をしてみつめ続けてくださるのが主のまなざしだとしたらどうでしょう。喜びの時も、悲嘆の時も、絶えずみつめ続けてくださるかたがいて知って生きる時、そして誰よりも主が私たち一人ひとりに期待を寄せてくださっていると知る時、私たちは神さまの愛を知る者として、神さまの愛を隣人へと伝えてゆく者となるのではないのでしょうか。

「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。」(ガラテヤ書2章20節)

完璧ではない私たちを、それでも愛しみつめ続けてくださる主に感謝いたします。私の内を生きるキリストにその身を委ね、嘘偽りのない神の言葉と共に歩み出してゆきましょう。

プロフィール

2019年受按、牧師5年目。父と弟も日本福音ルーテル教会牧師(弟が先輩)。神学校卒業後、日本福音ルーテル下関・厚狭・宇部教会へ遣わされる。家族は妻と子犬。趣味はDIY。巻き尺をいつも携帯している。現在、復活ろうそくの燭台を制作中。